

## 「農業復興に役立てて」 市民の思いが詰まった義援金手渡す

J Aセレサ川崎は5月9日、昨年にかけて東日本大震災の被災地宮城・福島・岩手の3県に、農業まつりや支店窓口などで寄せられた義援金300万円を贈りました。

J A全国中央会を訪れた柴原組合長は、被災地の農業復興に役立ててもらいたいとJ A岩手県中央会の田沼征彦会長と宮城県中央会の菅原章夫会長、福島県中央会の庄條徳一会長に直接義援金を手渡しました。各会長は「農業の復興のために使いたい」と感謝の気持ちを伝え、柴原組合長は「被災地を忘れない市民の思いが詰まった義援金、今後も引き続き協力していきたい」と決意を述べました。



義援金を手にする(左から)庄條会長、柴原組合長、菅原会長、田沼会長